

# Truth

[トゥルース]

富山のスポーツの  
真実を伝える

2016 秋号  
Tスポとやま  
¥0 Takefree

VOL.7 富山初のスポーツマガジン



## リオ五輪で 笑顔輝く

柔道・田知本遥 / レスリング・登坂絵莉



ほおぼる幸せ。

ほおぼる幸せ。  
富山米



# Truth

【トールズ】  
VOL.7 富山のスポーツの真実を伝える  
秋号

ホームページもご覧ください!!

HARUKA TACHIMOTO

ERI TOUSAKA

Rugby&Hockey

KANEMITSU Soccer

TOYAMASPORTS  
THREE TEAM

TOYAMA  
SPORTS  
MESSAGE BOARD

## SPECIAL FEATURES

- 02 リオ五輪で輝いた富山の金メダリスト  
柔道・田知本「夢をあきらめなかったから」  
レスリング・登坂「東京五輪でV2を」
- 04 富山の野球事情  
12歳の選択 硬式or軟式
- 06 ラグビー×ホッケー  
「世界で勝つためには」
- 07 トレーナーの金三津さん  
タイサッカーリーグで武者修行
- 富山のプロチーム3球団のリアル情報
- 08 野球  
富山GRNサンダーバース  
10年目のBCリーグに思う  
500安打達成・野原祐也／選手の色紙プレゼント
- 10 サッカー  
カターレ富山  
昇格ヘラストスパート  
クラブ記録一覧
- 12 バスケットボール  
富山グラウジーズ  
歴史的な夜 Bリーグ開幕  
ブースター観戦記
- 14 富山のスポーツ伝言板  
川口、緒方氏が講演／リオパラで藤井銀  
※皆様からの耳寄り情報お待ちしております!

この冬は、こだわりファミマの挽きたてコーヒーで至福のひと時を!!



あなたと、コンビニに、  
**FamilyMart** ファミリーマート 検索  
問合せ先／ファミリーマート富山営業所 Tel.076-422-9575

**ブレンドコーヒー Sサイズ**  
1杯100円(税込)で好評販売中!!

富山県内のファミリーマートで  
「Truth」を配布いただいています!

「Truth」の配布にご協力いただいている店舗・事業所などは次の通りです

あおき接骨院、KHEIR(ケイル)、スポーツドームエアーズ、ボンジュールSAKATA二口店、ボンジュールSAKATA富山駅前店、いっぽ堂、スポーツショップランナー、ノン・ビリィ、山内武道具店、カフェ ジャックラビット スリムス、アピアスポーツクラブ、西能病院、JSS富山インドアテニススクール、うな富、ビッグエッグ、ベースボールハウスMVP、すき焼 はやし、バイエルンスポーツ、(有)栄寿し、居酒屋酔虎伝、松長接骨院、竹接骨院、奥田接骨院、原接骨院、ヘアーサロンみずほ、いなみ木彫りの里 創遊館(道の駅 井波)、ねむり家、MUSCLE GYM TOKYO富山店、娘娘餃子、ステーキ すず屋、高岡ワイン倶楽部、LIXILリフォームショップ ユニテ、Mag Haus、カフェ ゴッコ、ハウディーキオスクマーケット1931、ゴールドカレー富山豊田店、curry&bar nine、遊さん、万里摩理(マリーマリー)、Trattria La Luce

(順不同)

このほか、富山県内のスポーツ・文化施設、公共の窓口、スポーツ団体の事務局、総合型地域スポーツクラブの事務局などで配布いただいています。NPO法人Tスポとやまは、「Truth」の配布にご協力いただける事業所・店舗などを随時、募集しております。

**株式会社 Q・O・L**

デイサービス・ショートステイ・居宅介護事業所 **雅** -みやび-  
放課後児童クラブ **和** -なごみ-

〒933-0874 富山県高岡市京田281-1  
TEL0766-50-8773 / FAX0766-50-8873 / E-mail : miyabi@q-o-l.jp

デイサービス・サービス付き高齢者住宅 **雅** -みやび-小杉

〒939-0351 富山県射水市戸破1677-1  
TEL0766-57-8873 / FAX0766-57-8874 / E-mail : miyabi@q-o-l.jp

富山発のスポーツメディア  
**Truth**

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営  
TEL:080-3461-5959 E-mail:nisennen@tspotoyama.com  
ホームページ:http://tspotoyama.com/ Facebook:https://www.facebook.com/tspo.truth



文・写真 若林 朋子  
text&photo by Tomoko Wakabayashi

## リオ五輪金メダリスト 田知本、登坂が故郷で凱旋パレード

リオデジャネイロ五輪で日本選手団は12個の金メダルを獲得した。そのうち、2個は富山県出身の女性アスリートが、決勝で逆転勝利をものにしてつかんだ。柔道女子70キロ級・田知本遥(ALSOK)と、レスリング女子48キロ級・登坂絵莉(東新住建)である。2選手は9月12日に県民栄誉賞を受けた後、故郷で凱旋パレードし、感謝の思いを語った。田知本の言葉には人生への教訓がいっぱい。登坂は力強く2020年東京五輪で連覇を目指す表明した。

自分の夢が達成できた今、感謝の気持ちしかありません。パレードを通じ、感謝の思いを皆さんにお伝えすることができたのではないのでしょうか。金メダルの重さを実感し、「これからはこれに恥じない過ごし方をしなければ」と思います。

登坂さんと一緒にオープンカーでパレードできたことは、とっても良かった。喜びが倍になりました。前々から(登坂に対し)「親しみやすい選手だなあ」という印象を持っていました。柔道の会場は競技終了後にマットを敷いてレスリングが行われました。ですから同じ雰囲気味わっているのです。祝勝会の間などは、「いい雰囲気だったよね」と五輪の思い出を振り返りました。

「リオ五輪で心に残ったことは？」と聞かれますが、なかなかひとことでは言えません。ロンドン五輪から4年間、災難だと思ったことも全部が自分にとっては大切なこと。過程が大事だったと思います。最後まで自分を信じた。自分を信じてやり遂げた。夢をあきらめなかったからこそ、金メダルを獲得することができました。

たくさん苦しいことがありました。ただ、そのたびに家族や先生方が「お前はここで終わる

選手じゃない」と言ってくれました。人生に花が咲かない時期はあります。けれど、そんな時は根を地下に張って堪えていくことを忘れないことが何より大切だと思います。

そんな中でも一緒に柔道をやってきた姉(愛選手)に対しては、特別な思いがあります。常に刺激をもらってきました。金メダルを受け取った後、自然に体が動き、姉の胸にかけて抱き合いました。

した。姉がいなかったらここまで来られなかった。一人三脚で歩んできた柔道人生です。「今後の目標は？」と聞かれても、リオ五輪まで「死んでもいい」と思うほど柔道に打ち込んできたので、「東京五輪まで頑張ります」とすぐには言えません。ただ、目標を設定しなければ生きがいを感じられないタイプなので、新しい目標を見つけて頑張りたいと思っています。

## 2020 東京五輪でV2目指す! 登坂 絵莉



とうさか 絵莉 1993年8月30日、高岡市生まれ。高岡ジュニアレスリング教室で小学4年時からレスリングを始め、木津小、南星中、至学館高(愛知)、至学館大を経て2016年4月に東新住建入り。同大学院にも在学している。身長152センチ。世界選手権は2013年から3連覇中。14年アジア大会優勝、16年アジア選手権3位。リオ五輪優勝(階級はすべて48キロ級)。

行き、「私も、これと同じ金メダルが欲しい。絶対に取る!」と強く思いましたね。

本番ではまったく緊張せず、自分らしいレスリングを貫いて金メダルを獲ることができました。こうして今、金メダルを胸からかけて田知本さんと並んでいると、同じ富山県人として誇らしい思いでいっぱいです。田知本さんの金メダルあつての、私の金メダルでした。ありがとうございます。

本番では力を発揮できたと思いますが、リオ五輪までは、けがが多くて、思った通りに練習

雨の中、2万2000人もの方が沿道に並び、私たちを祝福してくださいましたこと、うれいです。本当に、4年前の自分を振り返ってみると、全日本選手権でも勝てるかどうかというレベルでした。ですので、運と勢いだけでここまで来たような気がしません。

勢いという点では、田知本さんにもずいぶん、後押ししていただきました。というのは、田知本さんの優勝をブラジルへ向かう途中に知りました。選手村に入っ

## TOUSAKA ERI

できない時期もありました。その時は、つらかった、苦しかったです。その間、家族や監督、先輩らに励まされました。長らく先輩の吉田沙保里さんにあこがれ、目標にしてみました。それは今後も変わりませんが、自分も金メダリストとなった以上、あこがられる立場にもなつたということを自覚せねばなりません。沙保里さんのように、競技者としてだけでなく、人間としてあこがられる人間になつていけるように努めます。



## 夢をあきらめ なかったからこそ 田知本 遥

HARUKA TACHIMOTO

たちもと・はるか 1990年8月3日、射水市(旧小杉町)生まれ。小杉少年柔道クラブで小学2年時から柔道を始め、小杉中、小杉高、東海大を経て2013年4月にALSOK入り。身長167センチ。ロンドン五輪7位、グランドスラムは2015年7月のチュメニと同年10月のパリで優勝。12年11月の東京、16年2月のパリで2位。全日本選抜体重別選手権は2012年、15年、16年と優勝。リオ五輪優勝(階級はすべて70キロ級)。

SUNNY LIVE GROUP  
サニーライブグループ

すべては、人びとの笑顔をつくるために。

南陽/吉久/光陽興産/ウッディパーツ/BESS北陸/南陽オモト/エコネクト物流

# Baseball

富山リトルシニアの練習の様子



2016年に中学校体育連盟に登録している県内の軟式野球

**全国で実績を残す県内野球部**

ている。大学や社会人野球を経験したコーチが指導し、技術だけでなく、戦術にそった緻密な野球を教えるクラブも少なくない。

一方で、近隣のチーム数が少ないため公式戦をはじめとする対外試合の多くは県外で行われており遠距離移動にかかる時間と費用がばかにならない。練習場への送迎や月々の活動費など、中学の部活動よりも保護者の負担は大きく、理解と協力的な子どもたちがプレーを続けるのは難しいのが実情だ。

部は72あり、部員は1765人の中にほる。昨年、氷見北部が全国中学校体育大会でベスト4に進んだほか、04年に桜井、11年に奥田が準優勝を果たすなど健闘が目立っており、競技レベルは決して低くはない。

熱心な指導者は多く、県野球協議会が定期的に開催する指導者研修会にも幅広い年代の監督が参加し、全国区で活躍するトレーナーや強豪校から練習方法を貪欲に採り入れる様子もみとれる。また、教員でもある顧問が学校生活からじっくりと向き合って指導してくれることや、小学生時代からの仲間たちと野球をしながら一緒に成長する経験は貴重なものだ。しかし、学校



や顧問教諭によって部活動への取り組み方や指導力にはばらつきがあるのも事実。また、地元で中学で野球をやりたいくても、少子化や野球離れによる部員不足が進めば満足な活動ができないケースもでてくるかもしれない。

**硬式球への対応に独自の大会**

県内では軟式野球部を夏に引退した中学生が硬式球でプレーする大会が32年前から開かれている。県少年硬式野球協会（会長・吉田義夫）が主催する県少年硬式野球選手権大会。硬式球に慣れる機会を設けるとともに、高校入学までのプランクを解消する狙いがある。全国的にみても、富山県だけの独自の取り組みで、

今年24チームが参加した。各地域で3年の希望者が集まり、地元で指導者のもとでチームをつくり大会に参加する。普段から硬式でプレーしているクラブも出場しているが、軟式出身者のチームが勝利を収めることも珍しくない。互いによい刺激を受けているようだ。「硬式経験者は打球の速さが違う」と驚く選手がいた。一方で、軟式球ではまれなスタンドインの本塁打を放つて自信を深める選手も。部活動の顧問に「先生、ホームラン打ったよ」とうれしそうに報告する選手もいるという。大会で活躍した選手による、東西対抗戦も実施されており、スタンドには選手に熱視線を送る高校野球指導者の姿がみられる。

富山県は中学から高校に進学した部員の野球継続率が全国平均を大きく上回ってきた実績もあり、この大会の貢献度が高く評価されている。

**親が望む環境より子供のやりたいが優先**

小学6年生が、この先どのような環境で野球をやりたいのか自分自身で考えて決断するのはたやすいことではない。どこかで親の意向が入ってしまうかもしれない。しかし最後は子どもたちの気持ちや大事にしてあげたい。硬式野球クラブの体験会に参加したり、学童チームの卒業生に地元中学の部活動について話を聞いたたりして、「ここで野球がやりたい」と思う場所を見つけてほしい。好きな野球を自らの意志で続けて成長する姿をみるのが、わたしたち親にとつては最高の喜びになるのだから。

# 12歳の選択 硬式or軟式？

## —中学野球を考える

文・写真 中沖 紘一  
text&photo by Kouichi Nakaoki

野球シーズンが幕を閉じるこの季節、小学6年生の球児はある選択に直面する。地元で軟式野球を続けてもよいし、硬式野球を始めるためにクラブチームに入団してもよい。子どもたちが野球との向き合い方を問われる最初の分岐点だ。少年野球の指導にあたる筆者が考えてみた。

高校入学当初に感じた軟式と硬式の違いを記憶している人は少なくないだろう。硬式ボールはひと回り大きく重かった。内野ゴロは低いバウンドのまま加速してくるようさ見え、外野への打球はグングンと伸びてきた。バットの芯を外した時の手のしびれや、体に当たった時の痛さに顔がゆがんだ。

高校生が野球に打ち込めるのは入学から3年の夏までの約2年4カ月しかない。硬式ボールに慣れるまで多かれ少なかれ時間がかかるのはもったいないという考えが一部にはある。中学生がクラブチームに所属して硬式野球を始めるひとつの理由になっている。

**選手育成重視のクラブチーム**

現在、県内で硬式球を使用する中学生のクラブチームは、リトルシニア、ボーイズ、ヤングの各リーグに加盟する10チーム（富山リトルシニア、高岡リトルシニア、富山ボーイズ、富山中央ボーイズ、富山東部ボーイズ、射水ボーイズ、高岡ボーイズ、富山ヤング、高岡ヤング、バンディッツヤング）。ここ20年で増加したものの、都市部に比べてその数は少ない。その差が高校野球の競技レベルの低さに関連しているとの意見はあるが、中学の軟式野球部出身者も甲子園出場校の主力選手として活躍している。素質のある選手ならば硬式経験の有無は関係ないという声も一方で聞かれるところだ。

「成長期の体ができていない段階

から硬式ボールを投げると肩や肘に負担がかかり故障につながるのではないかと心配する保護者に対し、各クラブの指導者は「けがをしない体づくりをしてい」「正しいフォームを身につけさせてい」「日本中学硬式野球協議会の統一ガイドラインに沿って日頃から打球数を制限している」と答える。肩や肘に故障を抱える投手は軟式の中学生にも多いが、小学生時代から発症しているケースが少なくないようだ。硬式軟式を問わず、小・中学生の大会ごとに打球回数制限などのルールは存在するが、中学生を受け持つ多くの指導者は「さまざまな大会に参加し、過密なス



左が中学野球部員が使用する軟式B球 約135g、直径 約70mm 右が硬式球 約145g、直径 約74mm



富山県少年硬式野球選手権大会の様子

**映画**

西野亮廣 山本真由美  
みひろ エハラマサヒロ 米田弥央  
ほんこん 月影瞳 石川琢磨  
渡辺哲

伊藤英樹 金本和伸(フィッシュ&チップス)  
高島敏 千田裕司 中塚聡 青木訓美 良ありき 梶川あゆみ  
小田伸泰 重原依子 コンプレッサー 小輪未里 山口泰祐  
尾島英和 金澤一彦 室田勲 若林絵 塚原寛江  
鹿作亮治 青木和理子

監督 金森正晃

高岡の発展をわがって、私も映画「デンサン」を応援します。—高岡NCRNサンダーバース代表取締役・永森茂  
映画「デンサン」へのご協賛、またクラウドファンディングにてご支援を歓迎いたします。詳しくは、公式HPにて

映画デンサン 検索



# トレーナー として 世界に挑戦

金三津 龍人

聞き手・文・写真 土田 由香里  
interviewer&text&photo by YukariTsuchida  
取材協力 curry&bar nine



日本を飛び出し、現在タイ・プレミアリーグのアーミーユナイテッドFCでトレーナーとしての経験を積む青年・金三津龍人さん。なぜトレーナーになり、海外を選んだのだろうか。サッカーを志す者として、プロに進め活躍できるのはほんの一握り。どこかで現役を退く時がやってくるのだ。金三津さんもその一人。祖父がサッカーのコーチだったため、3歳からサッカーを始めた。それから夢中になってボールを蹴る毎日。「サッカー小僧」という言葉がびつたりかもしれない。サッカーが大好きだからこそ「サッカーの世界で仕事をしていくには」そう考えた人生の選択。それが「トレーナー」だった。

水橋高校を卒業後、専門学校でトレーナー専攻科へ。同時に鍼灸も学んだ。その後カンボジアへ渡る。カンボジアでは、高校の先輩・太田敬人氏が日本人初のカンボジアプロ選手として活躍していた。太田氏の誘いもあり、思い切って海外へ活動の場を求めた。



カンボジアでは、日系のサッカーカースクールのコーチをしたり、国際大会の運営やイベントを手掛けたり、サッカーに関わるさまざまな経験を積んだ。そして、カンボジア代表のトレーナーも経験することとなる。少しずつの自信が、「更に高いレベルの地で経験したい」という気持ちを生み、タイへ渡った。

かねみつ りゅうと  
1992年1月23日生まれ、魚津市出身。水橋高を卒業後、JAPANサッカーカレッジトレーナー専攻及び国際メディカル専門学校鍼灸学科を卒業。

2人が講師をつとめたクリニックでは、互いの競技を体験する場面もあり、参加者からは学ぶべき点があったとの声が多く寄せられ、異種目コラボの意義と可能性を示したイベントとなった。

敗退したことについて、「体格、パワーで劣る外国勢に数的優位をつくる戦術で臨んだが、通じなかった」とした振り返り、4年後にむけては、「個々の力で勝てるチームづくりをして、ぜひメダルを目指したい」と話した。

シボジウムとクリニックには、県内のラグビー、ホッケー関係者約200人が参加した。この中で、ラグビーの瀬川氏は、「4位入賞は、去年の15人制W杯南アフリカ戦の歴史的勝利で、日本に勝てる文化が根付きはじめたことが大きかった。選手には初戦のNZ戦は勝てる」と信じ込ませた。フランス戦は、競技場の天候も独自のシステムで予想し、雨の中で戦うことを十分想定して臨んだこと」を勝因のひとつにあげた。

富山においても、次世代に継承するレガシーを築く取り組みとして、アスリートへの理解と支援を広めるため、異種目がコラボすることでの相乗効果を狙った新しいスタイルのスポーツセミナー「NEXT2020富山プロジェクト」が、10月16日、小矢部市のクレストは、リオ五輪で、強豪ニュージーランド(NZ)、フランスを撃破し、4位入賞を果たした7人制ラグビー日本代表ヘッドコーチの瀬川智弘氏、4大会連続五輪出場を果たした女子ホッケー日本代表の強化に尽力している日本ホッケー協会強化副本部長の中村真理氏。

文 松井 克仁  
text by Katsuhito Matsui  
写真 TOM  
photo by TOM

# 世界で勝つためには ~リオ五輪を終えて~ ラグビー × ホッケー

ラグビー7人制日本代表ヘッドコーチ  
瀬川智弘(せがわ ともひろ)

兵庫県出身 45歳  
明石西高校~大阪体育大学~東芝  
現役時代はスクラムハーフとして活躍  
東芝監督としてジャパンラグビートップリーグ2連覇、リオ五輪4位入賞

日本ホッケー協会強化副本部長  
中村真理(なかむら まり)

小矢部市出身 53歳  
石動高校~天理大学  
元日本代表選手、女子代表コーチとして  
2008年北京五輪出場



主催 NEXT2020富山プロジェクト実行委員会  
共催 とやまSCネット NPO法人Tスポとやま 一般社団法人高岡スポーツユナイテッド  
後援 小矢部市教育委員会  
協力 富山県ラグビー協会 富山県ホッケー協会 小矢部市体育協会  
協賛 トンボ飲料 Q・O・L 前田建設 なかやす酒販 スパック 高岡市体育協会 ヤマヒテホーム あおい接骨院 中田酒販 バイエルンスポーツ 三和電気 柴田電気商会 小杉スポーツ 旭産業 野村土建 島田商店 MJ&CO



ラグビーとホッケーのクリニックに参加した皆さん

# BCリーグ10年に思う

今年10年目を迎えたルートインBCリーグ。野原祐也は初年度から富山サンダーバーズに所属し、NPB挑戦（阪神に4年間在籍）を経て、2013年から再びコーチ兼任で富山へ。チームは今季、前後期とも優勝を逃したものの、野原は「BCリーグ通算500本安打」を達成した。10年間の歩みとは？ 節目のシーズンを終えた野原に聞いた。

## ●NPB目指し練習

2007年のシーズンに向けてチームが始動したころは、鈴木康友初代監督の下で、練習に励んだ。まだ拠点もなく、県内の野球場を転々とする日々。ホームベースもなく、段ボールをベースの形にして練習したこともあった。08年に立山球場が練習拠点となったが、落ち着くまでは時間を要した。

「とにかく、NPBに上がることだけを考えていた」と野原。自分に大きな目標を課し、実現するためにひたすら練習。全体練習の前にも後にも、黙々とバットを振った。

## ●在籍2季でNPBへ

初年度も2年目も開幕当時は、なかなか打てなかった。印象に残る1本は「2007年のホーム開幕戦。アルペンスタジアムでの三塁打」。打てなかった野原にコーチの宮地克彦氏が「三振してもいいから思い切つて行け」と言ってくれた。気持ちが楽になった。07シーズンは打率4割1分2厘、113安打、うち本塁打は13本で首位打者と本塁打王、リーグ年間MVPという好成績を取めた。

すぐに理解してくれるし、教え甲斐もある。「自分からもっと聞いておけばよかった」と以前の自分を振り返りもした。

阪神時代は遠慮があり、「迷ってしまい、どうしていいかわからなかった」という。「気持ちが弱い選手」というのが自身の評価だ。だからこそ、選手とコミュニケーションを図り、経験を伝えていく。NPBに上がってほしいとの願いを込めて。

## ●感謝を込めて

今季も「チームの優勝に貢献する」と戦ったが、悔しさだけが残った。500安打を達成したのは最終戦となった9月11日の試合だ。吉岡雄二監督は「500安打に」近から打った方がいい」と打席に立たせてくれた。

優勝を逃してしまっただけでも最後まで声援を送り続けてくれたファンがいる。その存在に「何としても達成させる」という気持ちになった。ファン、スポンサーの支援により、野球ができる。感謝の気持ちを込めてバットを振り続けてきた。



# YUYA NOHARA



選手に体験を伝授、自身は500本安打達成  
富山GRNサンダーバーズ／野原祐也選手兼任コーチ

08年はNPBのスカウトも注目。しかし、開幕当初は打率1割台だった。「NPBに上がるんだ」という一心でスランプを克服した。この年、BCリーグの王座に就いた。そして同年10月30日、阪神から育成ドラフト1位で指名を受けている。

## ●阪神での苦悩

阪神入団後は「自分の活躍で独立リーグが目される」と自覚してプレーした。富山では主軸を任されていたが、NPBの世界は違う。試合に出られる保証はない。チーム内の競争に勝たなければならぬ。「何が何でも」という姿勢は変わらなかった。しかし、故障もあり思うような活躍ができず2012年に退団となる。

## ●選手兼コーチとして

2013年に再び富山での生活がスタートした。コーチ兼任でBCリーグへ復帰。自分もほかの選手も結果を残さなければならぬ。バランスを取ることは難しく、「うまくいっていないように思えた」と振り返る。「これまで周囲を見ていなかった」と気付かされた。

今では、気付いたことを早く選手に伝え、聞いてくる選手には助言ができる。教えたことは



野原祐也(のほら・ゆうや) 1985年1月7日生まれ、埼玉県出身、31歳。178センチ、83キロ、右投左打。大宮東高、国士館大卒、2007年富山サンダーバーズ入り。08年に阪神育成ドラフト1位、09年7月に支配下登録、12年退団、13年に富山復帰。今季は54試合に出場し、187打数、61安打、32打点、打率3割2分6厘。

## 野原祐也選手兼任コーチのサイン色紙 2名様にプレゼント!

富山GRNサンダーバーズ野原祐也選手兼任コーチのサイン色紙を抽選で2名にプレゼントします。  
ご希望の方は、住所、氏名、電話番号、Truthに対するご意見・感想を明記の上ご応募ください。締め切りは、12月末。応募先は次の通り。



E-mail: nisennen@tspotoyama.com  
(個人情報につきましては、商品の発送にのみ使用いたします。) なお、発表は商品の発送をもって替えさせていただきます。

**YAMAHIDE**

“新ヤマヒデ印”の家づくり

(株)山秀木材 ヤマヒデホーム  
www.yamahidehome.co.jp



聞き手・文 土田 由香里  
text by Yukari Tsuchida

写真 富山GRNサンダーバーズ  
photo by Toyama GRN Thaderbirds

## 〈野原選手のBCリーグでの成績〉

シーズン	打率	安打
2007	.412	113
2008	.368	96
2013	.330	77
2014	.282	74
2015	.336	79
2016	.326	61

## カタレ クラブ記録一覧

(Jリーグ入会～2016年10月2日現在)

### 【連勝】3

2009年J2第11-13節、2016年J3第5・21・22節など6度  
【連敗】9 2014年J2第11-19節

【連続引き分け】3 2012年J2第22-24節など2度

### 【連続負けなし】12

2015年J3第34節・2016年J3第8節  
※1シーズンの連続負けなし 8 2009年J2第28-35節

【連続勝ちなし】15 2012年J2第17-31節

### 【1試合最多得点】4

2009年J2第12節/4-0栃木、2016年J3第22節/4-3YS  
横浜など7度

### 【1試合最多失点】5

2009年J2第17節/0-5湘南、2015年J3第31節/1-5相模  
原など6度

【連続得点試合】8 2016年J3第11-18節

【連続無得点試合】5 2009年J2第16-20節

### 【連続失点試合】27

2010年J2第13節・2011年J2第8節  
※1シーズンでは18 2014年J2第2-19節

【連続無失点】4 2009年J2第10-13節

### 【ホームゲーム最多入場者数】上位3試合

13,639人 2013年J2第10節・G大阪戦  
10,726人 2010年J2第3節・大分戦  
8,663人 2011年J2第26節・F東京戦  
※J3での最多4,810人 2016年第8節・長野戦

### 【ホームゲーム最少入場者】上位3試合

1,692人 2012年J2第5節・北九州戦  
1,716人 2011年J2第2節・徳島戦  
1,862人 2009年J2第8節・水戸戦  
※J3での最少1,870人 2015年第29節・福島戦

【最多得点】47 菅口卓也(J2:36、J3:11)

【最多出場試合】214 菅口卓也(J2:158、J3:56)

### 【連続得点試合】3

朝日大輔2011年J2第27-29節  
菅口卓也2011年J2第32-33節  
白崎凌兵2013年J2第37-39節

### 【連続出場試合】77

朝日大輔 2009年J2第49節・2011年J2第38節

### 【最年長出場】36歳11カ月5日

江角浩司 2015年J3第36節・琉球戦

### 【最年少出場】18歳6カ月23日

高准翼 2014年J2第3節・横浜FC戦

### 【最年長得点】34歳6カ月8日

黒部光昭 2012年J2第33節・千葉戦

### 【最年少得点】18歳8カ月8日

高准翼 2014年J2第10節・松本戦

勝利後の円陣で士気高く  
7月24日に行われた第18節・鹿児島戦からチームづくりは最終段階へと突入した。三浦監督は「選手自ら躍動していくチームになっていくべきだ。彼らなら『もつとできる』。その時は来



てい」と発言。期待に応えるかのように、今季初出場したD.F内田錬平が試合終了間際に決勝点を挙げて劇的な勝利を取めた。  
さらに8月13日の第5節・鳥取戦の前には「底辺から積み上げてチームのベースはできあがっている。得点と勝利という頂点をつくり、これまでに我々がやってきたことを多くの人に伝えるように示すぞ」と指揮官は選手に伝える。ふたを開ければ今季最多の4点を奪うゴールラッシュで快勝。終了後にはピッチで円陣をつくり全員で白星を祝った。  
そして「今年のカタレはひと味違う」とサポーターに強く印象つけたのが9月17日の第22節・YS横浜戦。0-3から後半だけで4点を挙げる大逆転で勝利を飾った。  
終了まで残り5分を切っても2点のリードを許す状況から3点を奪った粘りは驚異的だった。MF衛藤裕は「絶対に負けられない」という気持ちがつひつひとのプレーに表れて点を取ることができた。チームの成長を感じた。  
この試合の後にも選手とスタッフが円陣を組んで喜び、次の試合に向けて団結力を高めた。この勝利の儀式を重ねた先に昇格があると信じ

てい」と発言。期待に応えるかのように、今季初出場したD.F内田錬平が試合終了間際に決勝点を挙げて劇的な勝利を取めた。  
さらに8月13日の第5節・鳥取戦の前には「底辺から積み上げてチームのベースはできあがっている。得点と勝利という頂点をつくり、これまでに我々がやってきたことを多くの人に伝えるように示すぞ」と指揮官は選手に伝える。ふたを開ければ今季最多の4点を奪うゴールラッシュで快勝。終了後にはピッチで円陣をつくり全員で白星を祝った。  
そして「今年のカタレはひと味違う」とサポーターに強く印象つけたのが9月17日の第22節・YS横浜戦。0-3から後半だけで4点を挙げる大逆転で勝利を飾った。  
終了まで残り5分を切っても2点のリードを許す状況から3点を奪った粘りは驚異的だった。MF衛藤裕は「絶対に負けられない」という気持ちがつひつひとのプレーに表れて点を取ることができた。チームの成長を感じた。  
この試合の後にも選手とスタッフが円陣を組んで喜び、次の試合に向けて団結力を高めた。この勝利の儀式を重ねた先に昇格があると信じ



## カタレ案内板

### ■U-18がT1リーグ制覇

カタレ富山U-18が9月10日に終了したU-18サッカーリーグ富山県リーグ1部(T1リーグ)で優勝した。11勝3分だった。北信越プリンスリーグへの初昇格をかけて11月19日に行われる参入戦に出場する。

(問合せ)カタレ富山 電話076-461-5200

## <11月以降のホームゲーム日程>

節	試合日	開始時間	対戦相手
28	11月6日(日)	13:00	vs琉球
30	11月20日(日)	13:00	vs相模原

※会場はいずれも県総合運動公園陸上競技場。

※J2・J3入れ替え戦は第1戦が11月27日午後12時半からJ3クラブホームスタジアム。第2戦が11月4日午後12時半からJ2クラブホームスタジアムで実施。



J3リーグは大詰めを迎えている。  
カタレは昇格の可能性を残して上位勢を追い。  
これまで鍛えてきた力を最後の戦いにぶつける。

### ■チームづくりは概ね順調

三浦泰年監督は1月の始動時に掲げた方針に沿ってチームづくりを進めてきた。攻撃的なパスサッカーというプレースタイルや、目先の結果に一喜一憂せずゲーム内容の向上に努める姿勢は一貫していた。シーズンを通じて地道にチーム力を上げ、最終的に昇格を達成する成功イメージを描

いている」と発言。期待に応えるかのように、今季初出場したD.F内田錬平が試合終了間際に決勝点を挙げて劇的な勝利を取めた。  
さらに8月13日の第5節・鳥取戦の前には「底辺から積み上げてチームのベースはできあがっている。得点と勝利という頂点をつくり、これまでに我々がやってきたことを多くの人に伝えるように示すぞ」と指揮官は選手に伝える。ふたを開ければ今季最多の4点を奪うゴールラッシュで快勝。終了後にはピッチで円陣をつくり全員で白星を祝った。  
そして「今年のカタレはひと味違う」とサポーターに強く印象つけたのが9月17日の第22節・YS横浜戦。0-3から後半だけで4点を挙げる大逆転で勝利を飾った。  
終了まで残り5分を切っても2点のリードを許す状況から3点を奪った粘りは驚異的だった。MF衛藤裕は「絶対に負けられない」という気持ちがつひつひとのプレーに表れて点を取ることができた。チームの成長を感じた。  
この試合の後にも選手とスタッフが円陣を組んで喜び、次の試合に向けて団結力を高めた。この勝利の儀式を重ねた先に昇格があると信じ

# 昇格へラストスパート

©2008KATALLER



文・写真 赤壁 逸朗  
text&photo Itsuro Akakabe

こだわりの熟成肉あります。

3フロアの店内は広々ゆったりお食事ができます。  
3階のパーティールームは結婚式の二次会やご宴会にご利用下さい。

Bistro du marché  
**GOZZONE**

TEL 076-441-6002

富山県富山市内幸町1-8 内幸ビルB館  
営業時間 【通常】17:00~0:00(L.O 23:00)  
【金・土・祝前日】17:00~1:00(L.O 0:00)  
定休日 年中無休

# 歴史が刻まれた夜



Bリーグ 2016  
開幕戦  
9月24日・富山市総合体育館

富山 85-74 新潟

第1Q 17-16  
第2Q 22-24  
第3Q 20-23  
第4Q 26-11



バスケットボール界の悲願であった統一プロリーグ・Bリーグが開幕。B1中地区の富山グラウジーズはホームでの初戦を白星で飾った。観客席を埋める4677人が歴史の始まりに立ち会い、アリーナは高揚感に沸いた。

## B元年の初戦白星

富山グラウジーズのBリーグ開幕戦は9月24日、富山市総合体育館であり、bリーグ時代からのライバル・新潟アルビレックスBを迎えた。ゲームは接戦となったがグラウジーズが第4Qで地力をみせて突き放し、記念すべき初戦を勝利で飾った。

エースの城宝匡史が変わらぬ勝負強さを発揮するなど昨季からの主力が健在ぶりを示し、岡田優や宇都直輝、元NBAのアール・パロラら新加入選手も今後の活躍に期待がふくらむ働きをみせた。富山の誇りとなり、世界に羽ばたくクラブを目指すと宣言し、「We Will」揺るぎない決意を今季のスローガンに掲げている。北陸からの挑戦が始まった。

## 最高峰に18クラブ

BリーグはNBLとbjリーグが統合して誕生。最高峰の1部に当たるB1で元年をスタートしたのがグラウジーズをはじめとする18クラブだ。開幕戦で対戦した新潟が元日本代表で上越市出身の五十嵐圭を補強したように、各クラブが戦力アップに注力してトップクラスの選手をそろえている。ハイレベルなプレーと駆け引きに注目だ。



## ▶ボブ・ナッシュHC

「1部のレベルは高い。タフなシーズンになる。きょうの試合もそうだった。まだ60試合のうち一つのウインを手にしたに過ぎない」

「7月に妻が他界したことについて、私にとって一番大切な人を失った。富山で監督を続けることを彼女は望んでいた。ここに戻ってきたことを喜んでくれていて思う」



## ▶城宝 匡史

「これだけ来場者が多いのは初めて。アップの時から多いなあと感じていた。このような雰囲気の中で開幕戦を迎えられたことを選手全員が喜んでいるし、勝つこと



## ▶水戸 健史

「最初の試合に勝ってほっとして、(シュートを)我慢してもよかったと思う(苦笑)」

わたしは試合開始3時間前の午後3時過ぎに会場入りしたが、すでに開場を待つ長蛇の列ができていた。軽く千人は超えるだろう。日本バスケット界のトップリーグの開幕戦とあって、県民の興味と期待は想像よりもはるかに大きいことがうかがえる。

ゲームは途中まで新潟ベース。ゲムは途中まで新潟ベース。初戦とあって、両チームともまだ連携がしっかりと仕上がっていない時期。イージーミスが目立つところもあったが、最後はホームのグラウジーズがクラブ史上最多入場者数を更新する4677人のブースターの声援もあって第4クォーターで6点差を逆転し、85-74で勝利を収めた。今までのグラウジーズの戦い方とは異なりベンチメンバーが次々と出場して活躍、終盤は主力選手を温存し

# 高まる期待。示せB1の矜持

かつて、プロ化をめぐる対立から男子バスケットボールリーグがbリーグとNBLに二分され、まるで南北朝時代のような時期が続いてきた。FIBA(国際バスケットボール連盟)による対外試合禁止の荒療治を経てようやく今秋、統一プロリーグであるBリーグの産声を聞くこととなった。

このBリーグは1部(B1・18クラブ)と2部(B2・18クラブ)から構成され、その下にチャレンジャーリーグとしてB3(9クラブ)が存在する。我が富山グラウジーズはB1に所属できるのかB2にまわるのかハラハラさせられたが、チエマンから出された宿題を県民挙げての後押しによってクリアし、18番目のB1クラブに指名されたのは記憶に新しいところだ。

B1、B2ともに6クラブずつ東

## ■開場待ちの行列に驚き

開幕の9月24日、大きな期待を胸にホームアリーナである富山市総合体育館へ出かけた。グラウジーズの対戦相手は同じ旧bjリーグの隣のライバル、新潟。両クラブとも昨シーズンのメンバーを主力としながら旧NBL

# Boosters Report

—ブースターの開幕レポート—

ながら勝利するという新しい一面を見せてくれた。

## ■文化として浸透を

B1の初代王者を18クラブが争う。目下、3、4クラブが優勝候補で、2、3クラブが残留争いの主役といえそうだが、残りのクラブにそれほど大きな差はないように思う。私の見立てでは、グラウジーズは、残りのクラブの一つであるが、これからのようにチームが化けるか。ボブ・ナッシュHCの手腕に期待したい。

レギュラーシーズンは昨年より8試合多い60試合。この日の地響きが多様なホームの応援とbjリーグ所属の誇りを忘れずに、選手たちにはけがなく戦ってもらいたい。そして、バスケットボールひいてはさまざまなスポーツがこの富山の地に文化として永く根ざすことを祈る。

(ブースター歴9年目、坂野上満)

ができてよかった」



## ▶宇都 直輝

「最高に楽しかった。(大観衆の前でプレーするこの感覚は)前のチームでは味わったことがない。(城宝、水戸の)2人とはやりやすい。自分は好き勝手にプレーできる。ガードからみて彼らは扱いやすいというか、思った通りに動いてくれるし、意志が伝わりやすい」



## ▶岡田 優

「第4Qに勝ち越しのスリーポイントシュートを決めた場面は攻撃を組み立て直す選択もあったはずだが迷わずに打った。」

「相手ゴール下、田中健介のパスカットからの展開で、たぶん、もった時からシュートしようと思っていたのだから、特に考えていたわけではない。良い方にてよかった。今あらためて考えてみる

## 弾けるアイデア 固まる信頼

ゆるみ止め加工されたネジ、ボルトは  
こんなところにも使われています

NISSEI TECHNICA  
株式会社 ニッセイテクニカ  
www.nissei-tc.com



# スポーツ伝言板

ここでは、県内の身近なスポーツの話題を紹介していきます！  
あわせて皆様からの情報提供もお待ちしておりますので、詳しくは左ページ下記をご覧ください。

## 指導者の成長が欠かせない時代 ～元読売巨人軍川口氏、緒方氏講演会～

トスポとやま設立1周年記念



現役時代の実績はもとより甘いマスクでも人気を集め、現在もメディアなどで活躍する川口和久氏と緒方謙一氏。そんな2人を迎えた講演会は8月11日、富山県民会館で開かれ、様々な競技の指導者を中心に140人を超える受講者が耳を傾けた。

川口氏は現在のプロ野球選手を取り巻く環境の充実に触れながら、指導者のあるべき姿について持論を展開。「現在はトレーニングコーチや理学療法士、メンタルトレーナーなどが数多くいて、心と体のメンテナンスがすごく重要な時代になっている」と指摘した上で、「間違った練習をする間違った方向に行く。だからその部分を指導される方がいかに勉強されて、良い方向に持っていくかが大切」と訴えた。そして怒鳴るだけの指導者を痛烈に批判し、「教える技量が低い人は同じことしか教えられない。大事なことは指導者が引き出しをいかに多く持つか。なぜそれをやるんですか？と選手に聞かれたときに、ちゃんと説明できる指導者になってほしい」と呼びかけた。

緒方氏は2009年のWBCでコーチを務めた時のエピソードを紹介。移動の際にイチロー選手の姿が見えないと思ったら、誰よりも早く球場に行き準備に励んでおり、それを目の当たりにした巨人の選手がチームにアリーワークを持ち帰ったことを明かした。そんなプロ野球選手が取り組む準備とルーティンについて、「野球は失敗を重ねるスポーツなので、選手はどうやって逃げ道を作るかという、起ったことはどうしようもできなくて、悔いを残さないことが大事になってくる。俺はやるべきことは全てクリアしたと、それでもだめだったら次に頑張るしかないって割り切れるからルーティンを作る選手が非常に多い」と語り、そのメンタル構造を解き明かした。

講演会は、富山県生涯スポーツ協議会の指導者研修会として同協議会が主催、NPO法人「トスポとやま」が共催、(株)ニッセイテクニカが特別協賛し、同法人の設立1周年を記念して開催された。講演に先立ち同協議会の坂田勲理事長が挨拶した。

文・写真 中沖 紘一  
text and photo by Koichi Nakaoki

## リオパラで ボッチャの 藤井が銀



2015年の第17回日本ボッチャ選手権で優勝した藤井選手(前列中央)

リオデジャネイロパラリンピックのボッチャ競技に出場した魚津市出身で富山市在住の藤井友里子選手(43)。ボッチャは脳性まひの人のために考案されたスポーツで、ボールを白いジャックボールに近づくられるかで点数を競います。9月13日(日本時間)に行われた団体決勝では、前回の覇者タイと対戦、魚津市や勤務先の北陸銀行では、試合時間にあわせて、地域の人や同僚らが集まって、インターネットで速報をみながら声援を送りました。

日本は先制しますが、第3エンドで4点を奪われるなど、中盤以降引き離され敗れましたが、藤井選手は、メンバーの一員として、この種目初の銀メダル獲得に貢献しました。

メダルを胸に富山に戻った藤井選手は、「東京では金メダルを目指して、個人戦でも予選で勝って、ベスト8の試合に出られるよう頑張りたい」と話し、2020年におむけて決意を新たにしました。富山県は、藤井選手の活躍を称え、県民栄誉賞を贈りました。

## Vプレミアリーグ男子福野大会開催

12月3・4日、南砺市福野体育館にて、バレーボールのVプレミアリーグ男子大会が開催されます。2015・16シーズンの覇者・豊田合成がホームに、東レ、JT、ジェイテクトを迎え、熱戦を繰り広げます。全日本の越川優、八子大輔、米山裕太らも登場。選手の白熱したプレーをぜひ会場でご覧ください。

・問い合わせは南砺市バレーボール協会  
0800-636998650

## 2種類のストックを使い分け、 生涯スポーツとトレーニングが可能

「フルディックウオーキング」というスポーツをご存知だろうか。  
ストックを持つウオーキングをすることから、ノルディックスキーに似た運動をイメージされるかもしれない。日本ウオーキング協会(JWA)が認定する「ウオーキングライフマイスター」の資格を持つスポーツショップ「ランナー」(富山市)の店長、田中洋さんに、ノルディックウオーキングと、その運動効果について聞いてみた。

「ディフェンシブ、アグレッシブの両面があります」と田中さん。前者は高齢者や故障者などが足腰の負担を少なくし、転倒を防止するなどの理由からストックを持ち、生涯スポーツとしてウオーキングをするケースである。

アスリート向けなのは、後者の方だ。体にフィットしやすいうように部が曲がったストックを使い、トレーニングとして実施する。原則早歩きだが、起伏の大きいコースを使ったり、時にはジョギングもしたりする。ストックを持った手は、前後に振るだけでなく、肩甲骨から動かすことで、上半身も鍛えることができる。田中さんによると「故障して走ることができない選手に、アグレッシブなノルディックウオーキングをさせているプロスポーツ球団もある」とのことだ。

スポーツショップランナーでは、田中さんや、陸上競技女子中距離で複数のマスターズアジア記録を持つ黒川由子さんが「フルディックウオーキングに挑戦してみたい」という希望者の相談に応じ、指導も行っている。問い合わせは次の通り。

・お問い合わせ先 076-491-2008



## 花田さん「空中ヨガ」と「コラボ」で美を追求

アスリートビューティアドバイザーの花田真寿美さん(富山市出身)が9月17日(土)「富山女子魅力プロジェクト#2」を富山市のリラクゼーションサロンRatuで開催しました。富山の女性の魅力を更に活性化させたいという想いで企画したもので、今回は「美への歩セミナー」×「空中ヨガ」と「顔ヨガ」を行いました。(空中ヨガのインストラクターは芝草明子さん)普段のヨガやストレッチでは伸ばしきれない関節をハンモックを使うことで伸ばすことが出来ます。

初めて空中ヨガをする方が多く最初は不安そうなお顔をされていました。レッスンは「楽しかった」という声を聞くことが出来ました。顔ヨガは、魅力的な笑顔を手に入れるための表情筋のトレーニングです。トレーニング1セット毎にはうれしい線が薄くなるなど顔が変化していくのでその度に皆さんが嬉しそうに鏡をのぞく姿が印象的でした。

次回の企画は12月18日(日)  
冬至水行祭・ほしまつりとのコラボレーションです。  
詳しくはオフィシャルサイトへ。  
<http://precious-one.info>



## 日本シンクロを復活させた 井村ヘッドコーチが南砺市に

低迷していたシンクロロナイズドスイミング日本代表をリオ五輪のデユエット、チームで銅メダルに導き、復活させた井村雅代ヘッドコーチが南砺市にやってくる。今回のリオ五輪は、選手に今までで一番しんどい練習をさせたという井村氏。そうせざるをえなかったのには理由があった。現代における子どもたちの育て方、人材育成のヒントがそこから見えてくる。

「井村雅代講演会」テーマは「リオオリンピックにはこんなドラマが渦巻いていた！」。



日時 2016年12月3日(土) 午後1時  
開場、同2時開演  
会場 福野文化創造センター ヘリオス  
円形劇場(南砺市やかた100)  
入場料 2000円(入場券販売中)  
定員 700名  
問い合わせ 南砺市商工会本部  
TEL 0763-2225336  
主催 南砺市商工会女性部  
共催 南砺市商工会  
後援 南砺市

## 県内のスポーツ情報をお待ちしております

富山発のスポーツメディア

**Truth**  
Find us on Facebook

トスポとやま Truth  
<https://www.facebook.com/tpo.truth>

トスポとやま

「Truth」冬号掲載ニュースの締め切りは2016年12月末  
.....  
原稿・写真(画像)は左記メールアドレスまで、よろしくお願ひします。  
なお、体裁に合せたリライトは編集部でさせていただきます。ゲラチェックはありません。  
トスポとやまメール  
nisenhen@tpotoyama.com

# NPO法人 Tスポとやま 2016年度 賛助会員募集

NPO法人「Tスポとやま」(2015年4月認証)は、スポーツの力で富山を元気にしたいとの夢を実現するべく、県内のスポーツとそれに関わるみなさんを応援する活動を展開しています。

富山初のスポーツマガジン「Truth(トゥルース:真実の意)」を春・夏・秋・冬と年4回発行、ホームページでも情報を発信しております。

2016年はリオ五輪・パラリンピック、そして引き続き、2020年東京五輪・パラリンピックに向けて、アスリートたちの挑戦を広く県民の皆様にお伝えして参りますので、よろしくご支援・ご指導をお願い申し上げます。

2015年より賛助会員としてご支援くださっている皆様には深く感謝し、引き続きご助力を賜りますよう切にお願いする次第です。また、新たにご支援して下さる方を随時募集しております。よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

Tスポとやま代表 松井 克仁

## 【賛助会員】

企業・団体：[年会費] ¥10,000(税込) / 1口

個人：[年会費] ¥3,000(税込) / 1口

※賛助会員には「Truth」(年4回発行)を送付いたします。また、同誌に御芳名を掲載します。会員期限は入会日から2017年3月末までとします。

## 【入会方法】

申込書を記入いただき、年会費を銀行振込などでご入金ください。

◇振込先 北陸銀行 本店営業部 普通6071056 特定非営利活動法人 Tスポとやま

富山銀行 本店営業部 普通3012357 特定非営利活動法人 Tスポとやま

※振込の場合は申込書を下記までFAXまたはメールでお送りください。ホームページからも申し込みいただけます。

◇FAX:0766-55-0009 ◇E-mail:nisennen@tspotoyama.com ◇問合わせ先 080-3461-5959(Tスポとやま事務局)

## 《Tスポとやま 賛助会員 申込書》

ご芳名(または企業団体名)	ふりがな		
ご住所(「Truth」のお届け先をご記入ください)	〒		
電話番号	( )		
メールアドレス	@		
「Truth」巻末の社名・氏名掲載希望の有無	掲載を希望する (右欄に掲載名をご記入ください)	掲載名	希望しない
口数・金額	(法人・個人)いずれかに丸をお付けください	金額	
お支払方法(いずれかに丸をお付け下さい)	現金	銀行振込	円

※申込書をFAXなどで送付ください

<個人情報の取り扱いについて>皆様からお預かりした個人情報については「Tスポとやま」の活動関係事務のみに使用し、それ以外の目的に使用したり、第三者に開示したりすることはございません。

## Tスポとやま 賛助会員の皆様(2016年10月15日現在)

### 【法人会員】

千山道場、クラブJoy、学校法人 荒井学園、北陸機材、JUMP MARUYAMA、小笠原製作所、日伸精機、澤川鍛造工業、春日産商、東亜電工、北陸パロン美装、野中精機製作所、山崎機工、ユニゾーン、シマダ商事、高岡金網、富山技販、KANAYA、医療法人財団 五省会西能病院、津根精機、常願寺川公園スポーツクラブ、バイエルンスポーツ、ヤマヒデホーム、まちづくりとやま、内山精工、岡崎工機、藤田内科クリニック、富山機械工業センター、パレススポーツクラブ、ホテル よし原、潤観光開発、伸栄商会、澤田製作所、エヌアイシ・オートテック、ジャストドゥイット、高岡スポーツユナイテッド、高岡ケーブルネットワーク、富山県総合警備保障、前川歯科クリニック、なかやす酒販、スバック、あおい接骨院、中田酒販、前田建設、Q・O・L、高岡市体育協会、柴田電気商会、三和電気、小杉スポーツ、旭産業、野村土建、島田商店、MJ&CO

(順不同)

### 【個人会員】

森口寿志高(酒彩さんぽ)、鈴木八十善(ステーキすず屋)、黒田明、上野勉、横嶋好子、谷井康彦、竹田克史、小林浩、北井誠、井城斎加、川淵映子(アジア子どもの夢)、大家芳夫、澤川幸七、澤川美幸、澤川幸利、澤川泰子、成瀬昌朗、田村勉、澤田利浩、有澤渉、中田憲昭、長谷基、大鋸谷孝志、石須康友、田形衛、大辻 保、成田光雄、石田智子、牧内直哉、東軒一虎、清見昇、南雲公子、若林浜子、嶋田利隆、野沢紀子、河崎克彦、高岡茂樹、松本裕典、江川正光、高森勇、木内岳夫、加藤進也、大家三穂、石山次郎、田中一郎、田中英一郎、田中光子、田中龍郎、伊東与二、若林良、谷崎文保、河合常晴、渋谷春男(北京飯店)、松島公裕、西野由香、小山孝義、小沼憲子、面谷太志、清田義之、松本壽夫、塚田三四治

(敬称略、順不同)

### 【編集後記】

・リオ五輪でシンクロナイズドスイミング日本代表を銅メダルに導いた井村雅代ヘッドコーチに会った。結果を残した人のオーラは、話すことすべてを納得させる迫力があつた。印象に残った言葉は、悩んでいる暇があつたら「まず、やることを決めなさい」、決めたなら、失敗する不安を並べるのではなく、「成功するために何が出来るかを考えなさい」。やった先には、次がある。Truthも今回で7号だ(松井)

・Bリーグが開幕しました。トップリーグの、しかも1部の試合が2週に1度は富山で観戦できるのは画期的。バスケットボール、そしてスポーツ好きの輪がさらに広がる契機になってほしいと思います(赤壁)

・居酒屋での事。カウンターで隣に座った方と話す機会があつた。盛り上がったのはスポーツの話。スポーツは競技する者だけでなく、いろいろな一期一会をもたらしてくれるなど感じた時間だった(土田)

・日々の生活に欠かせないものはストレッチと読書であると考え。あと体幹トレーニングとトップアスリートも実践する瞑想も取り入れると完璧になるはず(中沖)

・居合道3段を取得、次は4段を目指します。多くの一流アスリートからいただいた教訓を自分の技の上達に活かそうと思いますが、なかなか難しい。やはり素質が違い過ぎるからでしょうか?(若林)

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営

TEL:080-3461-5959 E-mail:nisennen@tspotoyama.com

HP : http://tspotoyama.com/

Facebook : https://www.facebook.com/tspo.truth

顧問: 田中一郎

STAFF: 赤壁逸朗/金森正晃/小林永/坂野上満/谷尚人/土田由香里/中沖紘一/永森茂/松井克仁/若林朋子

DESIGN: TIME PLANNING JAPAN 株式会社

**Truth** 冬号は2017年1月下旬発行予定